

2024年6月13日
スカイマーク株式会社

鹿児島空港発着路線の累計搭乗者が1,000万人を突破

スカイマーク株式会社(以下:スカイマーク、本社:東京都大田区、代表取締役社長執行役員:洞 駿^{ほら はやお})が運航する鹿児島空港発着路線の累計搭乗者が、1,000万人を突破しました。これも日ごろご愛顧いただいているお客様や地域の皆様、関係各位のご支援によるものであり、心より感謝申し上げます。

スカイマークは2002年4月18日に鹿児島＝羽田線を開設、鹿児島空港に初就航しました。2006年4月21日に鹿児島＝羽田線は休止となりましたが、2010年9月1日の鹿児島＝神戸線開設や同年10月31日の鹿児島＝羽田線再就航などを経て、現在では、羽田、神戸、名古屋(中部)、奄美大島との間で1日あたり10往復20便を運航しております。昨年度は4路線合計で約100万人のお客様にご利用いただきました。

本日、6月13日(木)は、累計搭乗者が1,000万人を突破したことを記念して、鹿児島発のSKY304便(羽田行)、SKY132便(神戸行)、SKY636便(名古屋(中部)行)、SKY381便(奄美大島行)にご搭乗のお客様全員に記念品をプレゼントしました。



お客様にお渡ししたフライトタグとチケットホルダー



鹿児島空港支店長 みた けんじ
三田 憲司



イベントの様子

当社は、これからも安全を第一に、高い運航品質とシンプルで心のこもったサービスを身近な価格でご提供し、鹿児島のみならずすべての就航地の素晴らしさをお客様に実感いただくとともに、地域の活性化と発展に貢献してまいります。

以上

(ご参考①)スカイマークの鹿児島空港発着路線 概要

路線	運航期間	累計搭乗者数
鹿児島＝羽田	・2002年4月18日～2006年4月21日 ・2010年10月31日～現在 ※2010年9月1日～10月30日は経由便として運航	約640万人
鹿児島＝神戸	・2010年9月1日～現在	約200万人
鹿児島＝名古屋(中部)	・2018年8月1日～現在	約80万人
鹿児島＝奄美大島	・2010年9月1日～同年10月30日 ・2011年3月1日～同年10月29日 ・2018年8月1日～現在	約80万人
(過去に運航していた路線) 鹿児島＝成田	・2012年7月1日～同年11月15日	約2万人

(ご参考②)スカイマーク鹿児島空港発着路線 時刻表(2024年度夏ダイヤ期間:2024年3月31日～2024年10月26日)

鹿児島→羽田			羽田→鹿児島		
便名	出発	到着	便名	出発	到着
SKY300	07:05	08:50	SKY301	06:30	08:20
SKY302	09:15	11:00	SKY303	07:45	09:35
SKY304	11:30	13:15	SKY307	15:30	17:20
SKY308	20:10	21:55	SKY309	18:50	20:40
乗継 鹿児島→札幌(新千歳) [神戸乗継]			乗継 札幌(新千歳)→鹿児島 [神戸乗継]		
便名	出発	到着	便名	出発	到着
SKY132/ SKY175	08:55 12:40	10:05 14:35	SKY176/ SKY137	17:50 20:20	19:45 21:30
乗継 鹿児島→茨城 [神戸乗継]			乗継 茨城→鹿児島 [神戸乗継]		
便名	出発	到着	便名	出発	到着
SKY132/ SKY184	08:55 12:25	10:05 13:35	SKY185/ SKY137	14:15 20:20	15:30 21:30
鹿児島→名古屋(中部)			名古屋(中部)→鹿児島		
便名	出発	到着	便名	出発	到着
SKY636	13:35	14:55	SKY635	07:00	08:25
SKY638	21:20	22:40	SKY637	14:50	16:15
鹿児島→神戸			神戸→鹿児島		
便名	出発	到着	便名	出発	到着
SKY132	08:55	10:05	SKY131	08:40	09:50
SKY138	20:05	21:15	SKY137	20:20	21:30
鹿児島→奄美大島			奄美大島→鹿児島		
便名	出発	到着	便名	出発	到着
SKY381	10:25	11:25	SKY382	12:05	13:00
SKY387	16:55	17:55	SKY388	18:35	19:30

(ご参考③)スカイマークについて

スカイマークは、1998年9月19日に羽田＝福岡線で就航した日本の航空業界における規制緩和により認められた新規航空企業の第1号です。29機のBoeing737-800型機(177席)を使用し、国内12空港に就航しています。安全確保を前提に、高い運航品質とシンプルで心のこもったサービスを身近な運賃で提供する独自のビジネスモデルを追求しており、国土交通省が発表している「航空輸送サービスに係る情報公開」の「特定本邦航空運送事業者*に係る情報」において定時運航率6年連続1位、また、2023年度JCSI(日本版顧客満足度指数)国内長距離交通部門において顧客満足第1位となっています。

*客席数が100席または最大離陸重量が50トンを超える航空機を使用して行う航空運送事業を営む本邦航空事業者